

# さらくら

北九州市立皿倉小学校 校長 福田 修二

## 学校教育目標

わくわく いきいき 笑顔輝く 皿倉小  
思いやりの心をもち、自ら学び、  
たくましく生きる「皿倉っ子」の育成

今年の梅雨は、例年よりも雨量が多くなる予報が出ています。学校では大雨のときは溝や崖の側を歩かない、水溜りに入らない等の指導をしています。ご家庭でも子どもたちが分かるようにお話をしてお話をしてあげてください。さて、学校では分散登校から始まって給食の開始、そして通常授業へと段階的に普通の学校生活にもどしてきました。しかし、これからも新型コロナウイルスの感染防止に向けて取り組んでいかなければいけません。どうぞ、7月も朝の体温測定とチェックリストへの記入の協力をお願いします。

## 6月の学習や行事より

### 【給食が再開】

給食が24日(水)より再開されました。食缶等を置く前や給食終了後は、アルコールや次亜塩素酸ナトリウム液を使用して配膳台を消毒しています。おかずは写真左のように、教師がマスクの上からフェイスシールドを使用してつぎわけています。子どもたちはグループにせず、全員が前を向いて黙って食事をしています。(写真右)今は友達と話しながら食べる楽しさは我慢しなければなりません、おいしい給食を味わって食べています。



### 【体育科の授業の様子】

新型コロナウイルスの感染が気になりますが、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外して学習するようにしています。ただし、強要はしていません。学習開始の整列をした時点でマスクを外し、自分で用意したビニル袋等に入れています。(写真左)密集する活動や近距離で組み合ったり、接触したりする活動は行わないようにしています。また、できる限り笛を使用しないでハンドホイッスルを使用するなどの工夫を行っています。右の写真は、水筒や個人ノートを入れたかごです。お茶を飲むときに密にならないように距離を取って置くようにしています。



### 【音楽科の授業の様子】

音楽科の学習では、次のような工夫をしています。

- ・<サイレントシンギング>：範唱CDを聴きながら、心の中で歌う。
  - ・<ハミング>：口を閉じて声を鼻に抜かしてメロディーを歌う。
  - ・<ハンドサイン>：教師と一緒に腕を上げたり下げたりして、音階を表しながら小さな声で歌う。
- 学年に応じて工夫しています。



### 【集団下校】

集団下校を26日(金)に行う計画立てていました。しかし、18日(木)の下校時に大雨が降る予報が出ていたため、予定を変更し教師も引率して集団下校を行いました。集団下校の目的は「風水害等の災害時を想定し、同じ通学路を通る仲間と集団下校することにより、協力し合って安全に下校することができるようにする」です。一昨年に皿倉校区でも大雨による土砂崩れや地面陥没の被害がありました。「自分の命を自分で守る」意識をさらに育てていかなければならないと感じています。

## 7月の行事予定表

1	水	発育測定6年・5年2組
2	木	発育測定5年1組・3組 委員会活動
3	金	発育測定4年
6	月	発育測定3年
8	水	発育測定1年
9	木	発育測定こすもす学級 クラブ活動
10	金	発育測定おひさま学級
13	月	心臓検診(1年生と該当者)
14	火	発育測定2年
15	水	内科検診(2・5年生)
16	木	代表委員会
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
27~29		個人懇談会(14:00~16:30)
31	金	給食終了日

### 【個人懇談会の開催】

新型コロナウイルス感染防止のため、本年度は家庭訪問や授業参観・学級懇談会を行っていません。保護者の皆様とお会いして、お話することができていない状態です。そこで、27日(月)~29日(水)の3日間・14:00~16:30の時間帯で個人懇談会を行います。希望調査を行う文書は、先日配布しています。家庭での様子を教えていただいたり、学校での様子をお伝えしたりできればと考えています。

### 【給食終了日の延長】

一斉メールでもお知らせしましたが、給食の終了日が7月17日(金)から7月31日(金)に延長となりました。20日(月)~31日(金)の期間は、4時間授業後に給食を食べ、13時30分までに完全下校と考えています。

### 【携帯電話・スマートフォンの活用について】

児童がSNS(ソーシャル・ネットサービス)『フィスブック、ライン、ユーチューブ、TikTokなど』に画像や映像を流出させたり、インターネット上の有害な情報に接続して事件に巻き込まれたり、メッセージに誹謗中傷を書き込まれたりするなど、児童が加害者にも被害者にもなる事案が本市においても発生しています。また、携帯電話・スマートフォンなどの使用に多くの時間や費用を浪費したり、携帯電話・スマートフォンへの依存が顕著になったりする状況もあります。本校においても携帯電話やスマートフォンを所有している児童は、多くいます。そこで各ご家庭で「お子様がどのように使用しているか確認する」「時間を決めて使用する」など、目配りと気配りをお願いします。